



2021年5月22日（土）10～12時／14～16時
土橋小学校 特別活動室

1. ごあいさつ
2. 前回の振り返り（説明）
3. 事例紹介（説明）
4. ワークショップの進め方、お約束について（説明）
5. グループワーク
6. グループ発表
7. 次回予告・なんでもアンケート

次回：第8回「「まちに飛び出す」を考える」
6月26日（土） 場所：土橋小学校 特別活動室

あたらしい宮前市民館・ 図書館を考える ワークショップ

2021年 5月22日（土）

第7回テーマ

複合施設のメリットを活かした取組を考えよう

本日のプログラム

①10:00～10:05 ②14:00～14:05	ごあいさつ（5分）
①10:05～10:10 ②14:05～14:10	前回の振り返り（5分）
①10:10～10:20 ②14:10～14:20	事例紹介（10分）
①10:20～10:25 ②14:20～14:25	ワークショップの進め方、お約束について（5分）
①10:25～11:30 ②14:25～15:30	グループワーク（65分） 複合施設のメリットを活かした取組を考えよう <ul style="list-style-type: none">- 自己紹介（5分）- 個人で意見出し（20分）- グループワーク（20分）- まとめ（20分）
①11:30～11:50 ②15:30～15:50	グループ発表（20分）
①11:50～12:00 ②15:50～16:00	次回予告・なんでもアンケート（10分）

1. 前回の振り返り

前回の振り返り

前回のテーマ 様々な人にとって使いやすい 施設のルールを考える！②

市民館の利用規則（利用申込方法、申込時期、
貸出時間区分、利用料金など）
についてご意見をいただきました。

前回の振り返り

種別	WSのご意見(抜粋)
利用申込方法	
登録	・ふれあいネットの登録をもっと簡単にできないか
方法	・窓口とインターネットの両方で予約できるようにする
	・全てネットから申込できるようにしてほしい
申込時期	
受付開始時期	・ホールは6カ月前の抽選予約としたい ・受付開始を利用希望日に近づけたらどうか
受付終了時期	・申込は1週間前までならOK ・ネット申込なら利用時間ギリギリまで申込可
当日利用	・空いている部屋は当日現地に行って利用できると良い
物品販売	
全面許可	・原則自由
部分許可 (目的別)	・物品販売の目的によって許可すれば良い(例：貧困地域への寄付○、営利目的×)
部分許可 (物品の内容)	・川崎で取れた野菜などを直売する
	・個人や活動団体が作った作品を販売することは可能にしてほしい
部分許可 (団体別)	・地元のフリーランス、地元の企業、事業者が合同で販売できる→地域経済振興
部分許可 (場所別)	・フリースペースでの物品販売OK ・物品販売可能な場所を大ホール以外に広げる
事業で一時的 に許可	・大きいイベント(農業祭、産業祭)などはたくさん物品を売れるようなルールとし、地域を宣伝する

前回の振り返り

貸出時間区分	
時間制	<ul style="list-style-type: none">・1時間単位とし、多くの人が利用できるように・フレキシブルな時間制（例：最短1時間から予約可能とし、予約後、次の30分は自動で清掃・準備時間が確保されるようにする）
3区分制＋時間制	<ul style="list-style-type: none">・3区分制と時間制を部屋によって区分を分ける
フリースペース	
設置場所	<ul style="list-style-type: none">・色々な場所に様々な使われ方のものを・無料で使えるフリースペース（もっと広くて明るいところ）
利用方法・時間	<ul style="list-style-type: none">・フリースペースも予約制にする ・人がいっぱいいたら時間制
飲食	<ul style="list-style-type: none">・フリースペース内に飲食スペースを設ける。ただし、その他の施設（料理室以外）では禁止・飲食は基本的に自分達で片付け、ゴミを持ち帰る等のルールのもとでOKとする
エリア分け	<ul style="list-style-type: none">・小学生用のスペース・にぎやかな空間と静かな空間を分ける

前回の振り返り

飲食ルール	
施設全体	<ul style="list-style-type: none">・水やお茶などはどこでも飲めるようにする・持込をなしにして、市民館にあるものだけ飲食OKとする
エリア分け	<ul style="list-style-type: none">・フリースペース、イベントスペースでの飲食はOK・食べていい場所と食べてはいけない場所を分ける ・食事はスペースを限定
アルコール	<ul style="list-style-type: none">・カフェ・レストランのみアルコール可 ・アルコール類はスペース、時間を限定
その他	
料金設定	<ul style="list-style-type: none">・週末や祝日などは平日よりも高めに設定する ・シニア世代の利用料金、減免
子ども・学生料金	<ul style="list-style-type: none">・子ども～学生の利用料金を半額に ・区内の中・高に通う学生は無料
諸室	<ul style="list-style-type: none">・ボランティアグループなどが利用しやすい部屋があれば良い（無料）

2. 本日の検討テーマ

本日の検討テーマ

複合施設のメリットを活かした取組を考えよう

複合施設のメリットを考慮した上で、
各施設間で連携する事業には
どんなアイデアがあるか、
そのためにどんな運営が求められるのか
考えてみましょう！

3. 施設の連携について

鷺沼駅前再開発事業における導入機能、機能連携の振り返り

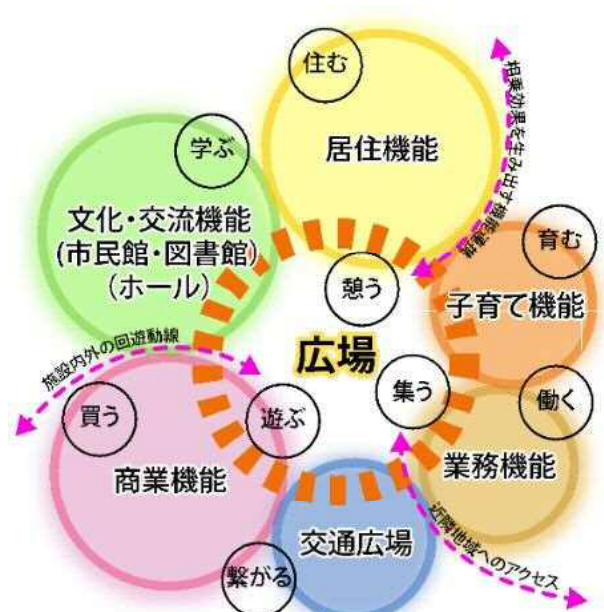
● 導入機能



導入機能の配置イメージ（準備組合資料）

- 住宅、商業施設、業務、広場
区役所、市民館、図書館
などの整備が予定されている

● 機能連携の方向性

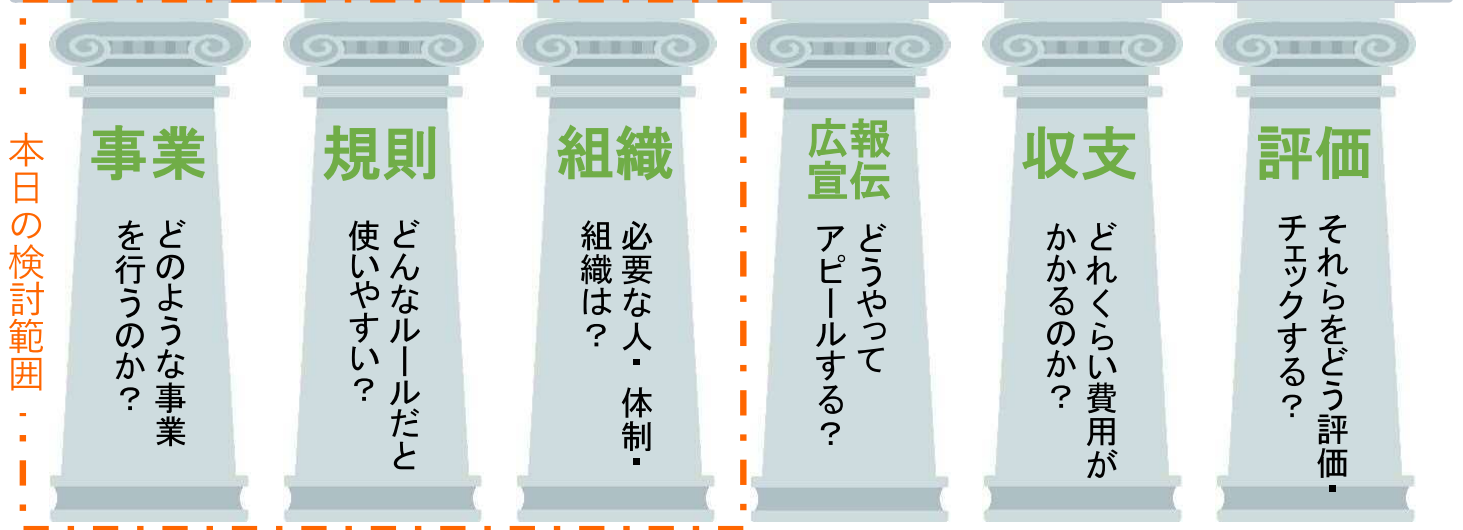


機能連携イメージ（準備組合資料）

- 公共施設と民間施設の連携
- 機能・空間の融合、多機能化
- 駅・交通広場・広場と連携した
空間づくり

再掲：「管理運営の6つの柱」

新しい宮前市民館・図書館



本日の検討範囲

複合施設のメリットを活かし、連携事業を行うために、
どんな利用規則、組織を目指すべきでしょうか？

新しい宮前市民館・図書館に関する基本的な考え方の振り返り

●基本理念

**市民の力で成長し続ける、
宮前区らしいスタイルの市民館・図書館**

～多様な人々が交流し、つながり、新たなコミュニティ・生活・文化・
教養を創発し、地域への愛着を育む場づくりをめざして～

新しい宮前市民館・図書館に関する基本的な考え方の振り返り

●基本方針

①行きたくなる市民館・図書館

「誰もがいきやすい・参加しやすい」「また行ってみたい・参加したい」施設となることを目指す

②まちに飛び出す市民館・図書館

地域の誰もが身近に感じるような施設となることを目指す

③地域の“チカラ”を育む市民館・図書館

人づくり、つながりづくりを支える施設となることを目指す

④空間・機能が“融合”する市民館・図書館

学びや気づきのきっかけ、人々や活動の出会いとつながりの一層の創出、多様なニーズに対応したより効果的な事業・サービスの提供等を実現する施設となることを目指す

⑤区役所・民間等と“連携”する市民館・図書館

区役所との機能融合や区内公共施設との連携強化を図るなど、相乗効果を発揮することで、宮前区全体の新たな賑わいや交流の促進等に寄与する施設となることを目指す

●「基本理念」、「基本方針」に基づいて考えてみましょう！

本日の検討項目

- **複合施設のメリットを活かした取組**
 - ・ 連携事業のアイデア
 - ・ 連携事業の実現に向けて求められる運営

4. 事例紹介

相互の利用における連携事例①

こども本の森 中之島 (大阪府大阪市)

近隣施設
と連携

施設概要・施設構成

開館年	2020年
延床面積	815.10m ²
施設概要	図書館(約1万8,000冊)



画像出典: 施設HP

運営方式・特徴

- ・運営: 指定管理(図書館流通センター& 長谷工 meet BACH)
- ・特徴: 平日、土日祝にかかわらず、入館は事前予約が必要。
利用対象者は乳幼児から中学生までをメインターゲットとしている。
混雑時の閲覧席はこども優先。
中之島公園内に限り、外での読書が可能。

相互の利用における連携事例①

こども本の森 中之島 (大阪府大阪市)

近隣施設
と連携

図書館⇔館外公園との相互利用、屋外への図書の持ち出し



画像出典：施設HP

- 館内の資料を中之島公園に持ち出して屋外での読書が可能(ひとり1冊まで)
- 公園へ持ち出す際はスタッフに声がけ
- 17:00までに館内の返却用ブックラックまたはスタッフまで返却
- 公園内のカフェでも返却可能

相互の利用における連携事例②

ゆいの森 あらかわ（東京都荒川区）

複合施設内の
施設間連携

施設概要・施設構成

開館年	2017年
延床面積	10,943.74㎡
施設概要	中央図書館(約60万冊) ゆいの森ホール(約900席) 吉村昭記念文学館(2,3階) ゆいの森子どもひろば(1,2階)



画像出典：荒川区HP

運営方式・特徴

- ・運営：直営（地域文化スポーツ部ゆいの森課）
サービス係（常勤8名、非常勤37名、再雇用1名、再任用1名、臨時職員6名
（令和2年1月時点））、管理・施設係、文学館係
- ・特徴：ほかの利用者の迷惑にならない限り会話、通話も可能。
飲物は密閉容器に入っていれば館内どこでも可。
食事は決められたスペースでのみ可能。

相互の利用における連携事例②

ゆいの森 あらかわ (東京都荒川区)

複合施設内の
施設間連携

図書館⇔ホール イベントのない日は、図書の閲覧場所として



画像出典: 設計者HP

- 「ゆいの森ホール」は全ての世代に絵本を楽しんでもらいたい思いから壁一面に絵本を設置している
- ホール前面の壁が可動式になっているため、図書館との一体的な使用が可能に。ホール内で本を読むことができる。

相互の利用における連携事例③

官民複合施設「ミルクィーウェイスクエア」(静岡県牧之原市)

牧之原市立図書交流館「いこっと」

複合施設内の
施設間連携

施設概要・施設構成

開館年	2021年
延床面積	2,378.37㎡ (図書館部分は815㎡)
施設概要	図書館 (約3万冊、座席数80席) 飲食施設 物販施設 など



画像出典：施設リーフレット

運営方式・特徴

- ・運営：直営(社会教育課図書係)
- ・特徴：民間施設と境目のない施設構造で、相互の利用が可能。
飲食が可能なスペース、会話が可能なスペースと静かに読書や勉強をするスペースを分けている。

相互の利用における連携事例③

官民複合施設「ミルクィーウェイスクエア」(静岡県牧之原市)

牧之原市立図書交流館「いこっと」

複合施設内の
施設間連携

図書館⇔民間施設(飲食店舗等)の相互利用、
民間施設への図書の持ち込み、飲食



画像出典:市HP



画像出典:あなたの静岡新聞

- 民間施設(飲食店舗等)と境目のない施設構造。
- 民間エリアで購入した飲み物を持ち込むことが可能で、また、本を持ち出して民間エリアで読書することも可能。

相互の利用における連携事例④

KEY PORT (愛知県安城市)

近隣施設
と連携

施設概要・施設構成

開館年	2015年
敷地面積	240㎡
施設概要	安城市観光案内所 コワーキングスペース



図書館×コワーキングスペース、観光案内所



画像出典: 施設HP、市HP



- 観光案内所とコワーキングスペースが併設されている駅前施設。
- 図書館の図書返却、閲覧、予約本の受け取り、雑誌の閲覧が可能。
- 運営: 株式会社安城スタイル

広報宣伝における連携事例①

滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール（滋賀県大津市）

近隣施設
と連携

施設概要・施設構成

開館年	1998年
延床面積	29,264㎡
施設概要	大ホール(1848席) 中ホール(804席) 小ホール(323席) 練習室、研修室、 会議室 など



画像出典：施設HP

運営方式・特徴

- ・運営：指定管理（公益財団法人 びわ湖芸術文化財団）
- ・特徴：日本有数のオペラ劇場として国内外から高い評価を得ている。
青少年向けの公演や活動の実施（オペラへの招待、子どものための管弦楽教室、学校巡回公演、ふれあい音楽教室）

広報宣伝における連携事例①

滋賀県立図書館 (滋賀県大津市)

施設概要・施設構成

開館年	2021年
延床面積	815㎡(図書館部分)
施設概要	図書館(1,473,221冊) レストラン併設



画像出典:施設HP

運営方式・特徴

- ・運営:直営(正規職員28名、会計年度任用職員1名、臨時職員1名
(令和2年4月1日時点))
- ・特徴:県の各機関との連携(各機関の施策に合わせた企画展示を行うなど)
びわ湖や周辺河川に関する資料コレクション(「水資料」)を収集している。
図書館が立地する文化ゾーン(びわこ文化公園)内には、美術館、埋蔵文化財
センターなどの文化施設があり、歴史・文化・芸術などに親しめる場となっている。

広報宣伝における連携事例①

「子どものための管弦楽教室 オーケストラの仕事」 (びわ湖ホール、滋賀県立図書館：滋賀県大津市)

近隣施設
と連携

ホールの催事×図書館の展示、SNSでの広報宣伝

「オーケストラの仕事」協賛事業として音楽に関する図書を展示

読んで味わう音楽の世界
滋賀県立図書館の蔵書の一部を紹介します！

オーケストラって何？
【オーケストラ入門】
小中高校生向け 楽譜アドバイザーの監修
【オーケストラの歴史】
【オーケストラの楽器】
【オーケストラの演奏】
【オーケストラの指揮者】
【オーケストラのコンサート】

楽器をたのしく
【管楽器の歴史】
【弦楽器の歴史】
【打楽器の歴史】
【オーケストラの楽器】

音の世界が広がる絵本・絵巻のたのしみ
【オーケストラの楽器】
【オーケストラの演奏】
【オーケストラの指揮者】
【オーケストラのコンサート】



画像出典：施設SNS

- ・びわ湖ホールで開催される「子どものための管弦楽教室 オーケストラの仕事」と連携して、滋賀県立図書館で関連資料を展示。
- ・びわ湖ホールのFacebookとTwitterにて、児童室の展示資料について紹介。

画像出典：施設HP

催事における連携事例①

大和市文化創造拠点シリウス(神奈川県大和市)

複合施設内の
施設間連携

施設概要・施設構成

開館年	2016年
延床面積	26,003.33㎡
施設概要	図書館(約46万7,000冊) 生涯学習センター 屋内こども広場 メインホール(1007席) サブホール(272席) ギャラリー など



画像出典:施設HP

運営方式・特徴

- ・運営:指定管理やまとみらい(図書館流通センター、サントリーパブリシティサービス、小学館集英社プロダクション、明日香、ボーンランド、横浜ビルシステム)
- ・特徴:施設間の事業連携、機能・ノウハウの融合

施設 業務	芸術文化 ホール	図書館	生涯学習 センター	子育て 支援施設	市民課 連絡所
貸館・窓口	指定管理者				行政
事業の 企画・実施	行政				
施設の 維持・管理	管理組合(行政も含む)				

画像出典:新・公民連携最前線 27

催事における連携事例①

開館2周年記念セレモニー

「器の中の宇宙」～響きあう感性～、クイズラリー

(大和市文化創造拠点シリウス:神奈川県大和市)

複合施設内の
施設間連携

図書館×催事、図書館⇄こども広場(クイズラリー)



華道パフォーマンスと
琴のコラボレーション



クイズラリー

画像出典:施設HP

- ・開館2周年を記念し、館内の様々な施設でイベントが開催された。
- ・セレモニー …図書館エントランス部分で公演を実施。
- ・クイズラリー…屋内こども広場とこども図書館で連携して実施。

催事における連携事例②

さいき城山桜ホール (大分県佐伯市)

共用部活用

施設概要・施設構成

開館年	2020年
延床面積	6,481㎡
施設概要	大ホール(916席) 小ホール(180席) 食育活動室、会議室、 和室、実習室 など



画像出典: 弊社撮影

運営方式・特徴

- ・運営: 直営
- ・特徴: 市民協働型施設として、開かれた場、市民の集うまちのにぎわい中心施設を目指している。市民サポーターとの協業や、市民提案事業の実施など、市民重視の運営を行っている。

催事における連携事例②

大道芸パフォーマンス

(さいき城山桜ホール:大分県佐伯市)

共用部活用

共用部×催事



画像出典: 弊社撮影



- ・開館記念事業の際、「アートプラザ」という共用部を使用して、大道芸人による様々なパフォーマンスが行われた。

催事における連携事例③

世田谷文化生活情報センター (東京都世田谷区)

近隣との連携

施設概要・施設構成

開館年	1997年
延床面積	12,216㎡(センター部分)
施設概要	パブリックシアター(692席) シアターラム(221席) 会議室 など



画像出典: 施設HP

運営方式・特徴

- ・運営: 指定管理(公益財団法人 せたがや文化財団)
- ・特徴: 日常の暮らしに身近なデザイン、文化、環境などをテーマに、展示、ワークショップ、セミナーなど、子どもから高齢者までが参加できるプログラムや、手作り品のフリーマーケットなど地域に密着したイベントを実施。

催事における連携事例③

三茶 de 大道芸

(世田谷文化生活情報センター、近隣商店街)

近隣との連携

ホール×商店街×大道芸×街中の展示×配信



大道芸onステージ



まちなか写真館開催エリア



まちなか写真館

画像出典：公式HP



商店街PR

- ・地元商店街と世田谷文化生活情報センターが一体となって行う秋恒例のフェスティバル。
- ・三軒茶屋周辺、商店街に100点ほどの写真を展示。
- ・YouTubeチャンネルを開設し、大道芸パフォーマーが三軒茶屋の商店街を紹介。

催事における連携事例④

由利本荘市文化交流館 カダーレ

(秋田県由利本荘市)

全館での連携

施設概要・施設構成

開館年	2011年
延床面積	11,750㎡
施設概要	ホール(1110席)、図書館 市民活動室、ギャラリー、 調理創作室、創作テラス、 スタジオ、練習室、和室 会議室、研修室 など



画像出典: 施設HP

運営方式・特徴

- ・運営：指定管理（一般社団法人 カダーレ文化芸術振興会）
- ・特徴：施設の運営方針づくりから作り上げてきたメンバーによる組織での運営。

催事における連携事例④

カダーレフェスタ2017

(由利本荘市文化交流館 カダーレ:秋田県由利本荘市)

全館での連携

全館×催事



画像出典: 施設HP

- ・ 吹奏楽、ダンス、ライブ、ちえすのお笑いステージや、ゆりほんテレビの番組公開収録、エフエム秋田のラジオ番組公開収録などのステージイベント。
- ・ 市民活動室特設ステージでは、ご当地うどん世界大会が開催される。
- ・ 地元の名産や飲食、学生たちの起業体験、様々な雑貨などの出店が並ぶ。
- ・ ビアガーデンやプラネタリウムや伝統文化の体験教室など、館内様々な部屋（図書館、ホール、ギャラリー、市民活動室など）で催しが行われる。

5. 本日のグループワーク

複合施設のメリットを活かした取組を考えよう

 本日のTO DO

1 複合施設のメリットを活かした、施設間の**連携事業**について考えてみましょう！

例) 図書館×市民館 ⇒ホールで読み聞かせ

調理室×広場×テナント⇒地元農家の野菜をつかった料理の提供

2 **連携事業に求められる運営（職員、ルールなど）**について考えてみましょう！

★ポイント

自由な発想で、色々な側面から考えてみましょう！

やりたいことを実現するための施設にするには？

● 連携事業のアイデアの記入例

図書館 × 市民館
ホールで読み聞かせ

書いた付せんは、ファシリテーターが回収して模造紙に貼ります。
(感染防止のため)

分かりやすいように
・相互利用する施設や
掛け合わせる機能
・イベント内容
を書いてください。

複合施設のメリットを活かした取組を考えよう

 本日の作業イメージ

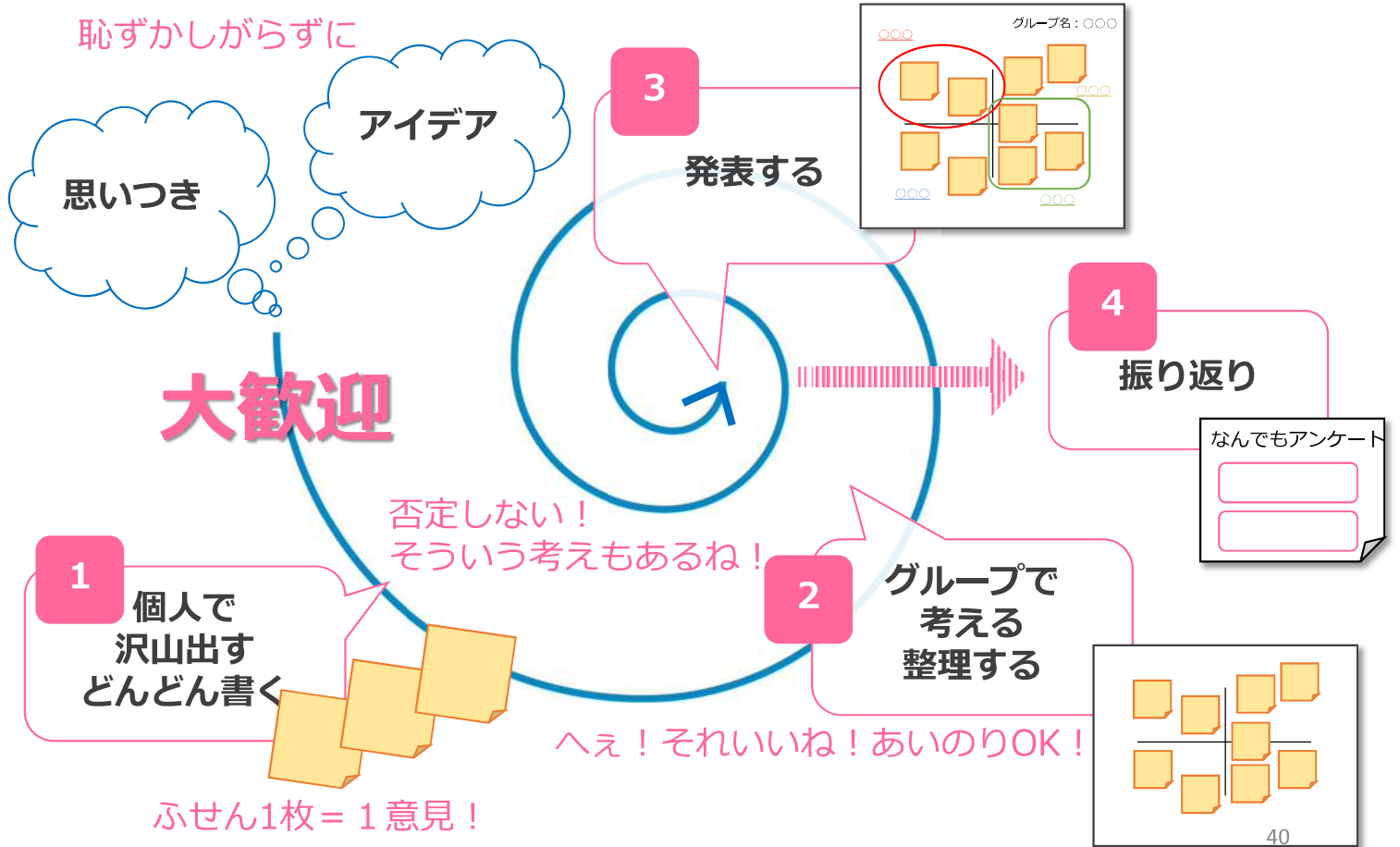
複合施設のメリットを活かした取組

○連携事業のアイデア

○連携事業に求められる運営

6. ワークショップの進め方、 お約束について

ワークショップの流れ



ワークショップのお約束

は

恥ずかしがらずに、
どんどん書いてみる、出してみる。

ひ

否定しない！自分と違った意見も、それもあるね。

ふ

ふせん1枚に一意見。
なるべく沢山、なるべく短く。

へ

へえ！それ、いいね！真似してOK！
便乗して発想を広げる。

ほ

他の人・グループの意見を聴く、褒める。

感染拡大防止のためのお願い

- ご発言の際にマスクを外さないでください。
 - 話し合いの際、手を挙げてからお話してください。
 - 文房具などの共有、受け渡しは行わないでください。
 - 書き終わった付せんは、机の上の分かりやすい位置に置いてください。
 - お茶、飴、マスクなどは会場に捨てず、お持ち帰りください。（ご希望の方にゴミ袋をお渡しします）
 - 終了後、名札とアンケート、文房具などはご自分の席の前に置いたまま、ご退出ください。
-
- 参加後に新型コロナウイルスの陽性となられた場合には、速やかに市にお知らせください。

7. グループ発表

8. 次回予告、 なんでもアンケート

今後の予定

回数	日付	テーマ
第1回	8月22日(土)	やりたいことを実現するための施設にするには？①
第2回	9月12日(土)	やりたいことを実現するための施設にするには？②
第3回	10月3日(土)	宮前区らしいスタイルの市民館・図書館を考える
第4回	11月7日(土)	「行きたくなる」を考える ～年間スケジュールを考えよう～
第5回	12月5日(土)	みんなのためのルールを考える①
第6回	4月17日(土)	みんなのためのルールを考える②
第7回	5月22日(土)	複合施設のメリットを活かした取組を考えよう
第8回	6月26日(土)	「まちに飛び出す」を考える
第9回	7月31日(土)	「地域の“チカラ”を育む」を考える ～どんな風に参加する？～



次回予告 「まちに飛び出す」を考える

**みんなに施設を知ってもらうには、
施設での活動をまちに広げるには、
何をしたらよいかを考える！**

新しい施設をより多くの人に知ってもらうためには
どんなことをしたら良いでしょうか？
また、施設での活動を施設内にとどまらず、
まちに広げていくには、どんなことが必要ですか？
考えてみましょう！

お疲れ様でした！

最後に

本日の感想や言い足りなかったことなど、
「**なんでもアンケート**」にご記入ください。

第7回 あたらしい宮前市民館・図書館を考えるワークショップ
なんでもアンケート

お名前： _____

1. 本日の感想をどうぞ！

2. 言いそびれてしまったこと、今後の要望など、なんでもどうぞ！

ありがとうございました！